

令和 4 年度 保育園自己評価

社会福祉法人 山目保育園

○「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を当該保育所の保育内容等について自ら票価を行い、その結果を公表するよう努めならない。」と保育指針に明記されています。

当保育園ではこのことに基づいて保育理念・保育指針・保育目標等を土台として検討し保育園としての自己評価について、評価の項目、視点、方法及び評価結果の示し方について作成致しました。

1、山目保育園 保育理念・保育方針・保育目標・年齢別年間保育目標

保育理念

・児童福祉法に基づき、「保育に欠ける」乳幼児の保育を行います。保育に当たっては、入所する全ての子どもを愛護し幼児の最善の利益を尊重し仏教保育の教えを柱とした考え深い豊かな人間になる為の素地を養い「生き生きとした子ども」を目指します。

保育方針

・子どもたちが健康で明るく楽しく安心して充実した生活が出来るよう環境に配慮し、養護と教育が一体となった保育を展開していきます。
・子どもたちが育つ道筋を見据えながら、小学校・地域社会とも連携し、要望・意見・相談にも応じ福祉施設としての社会的責任を果たしていきます。
・基本的姿勢は仏教の教えを柱とした豊かな情操教育
仏教保育の三綱領として
慈心不殺(じしんふせつ)……生命尊重の保育を行う
仏道成就(ぶつどうじょうじゅ)……正しきをみて絶えず進む保育を行う
正業精進(しょうぎょうしょうじん)……よき社会人をつくる保育を行う
子どもたちひとり一人の発達過程に応じた心身の調和的発達を図り家庭とも協力していきます。

保育目標

○元気で明るい子ども ○思いやりのある子 ○約束を守り、仲良く出来る子ども
○自分の考えをはっきり言える子ども ○物事を最後まで、やりきる子ども

年齢別年間保育目標

乳児—適切な環境のなかで、保育者と安定した人間関係を満たしていく。
1歳児—保育者や他園児とふれあいことば・歩行の完成をはかりながら、生活習慣を身につけていく。
2歳児—基本的生活習慣の自立を助け、模倣活動を促し友達への関心を広げ育てていく。
3歳児—基本的生活習慣の自立を図り個々の要求を大切にしながら集団生活の適応を経験させていく。
4歳児—友達とのつながりの中でいろいろの活動を通して社会性、創造性を育てていく。
5歳児—集団生活の中で自立し、友達と強調しあい創造性を育て、意欲的に活動し、社会的経験も踏まえて豊かな感覚や心情を育てていく。

2、上記の当園保育目標を基に今年度の保育評価の具体的な目標や計画として

1、保育を支える園の組織的基盤として

- (1) 保育課程の共通理解を図り、長期・短期的計画作成、養護と教育の一体的に行い、保育を振り返り評価しながら進めていく。
- (2) 乳児及び1～3歳未満児の保育の重要性を改めて認識しながら日々の保育を大切に進めていく。
- (3) オンライン研修(コロナ過の中で)を積極的に取り入れ職員全体の資質向上・共有を図る。
- (4) 園児・保護者のプライバシー保護に努め、相談や苦情・意見を述べやすい環境にしていく。
- (5) 「子どもを尊重する保育」の為に施設内での不適切な保育等が無いよう一人ひとりの人権を尊重した丁寧な保育を心がけていく。
- (6) コロナウイルス感染拡大防止の観点からも衛生面や安全に関する様々なマニュアル等確認と全体周知をし、適切な環境整備を進めていく。

2、保育内容について

- (1) 養護と教育の一体的展開を図り、各クラスが互いに連携できる体制をとっていく。
- (2) 乳児及び1～3歳未満児の保育の重要性を改めて認識しながら日々の保育を大切にすすめていく。
- (3) 一人ひとりの発達にあった保育で安心して過ごせるよう穏やかに接し、子どもの育ちの過程を丁寧に伝え合いながら家庭との共通理解に努めていく。
- (4) 危機管理マニュアルを職員全体で周知し、協力し対応出来るようにしていく。
- (5) 感染症対策・予防を職員全員で周知・徹底対応し、日頃から園児の体調に留意していく。

以上を取り上げていくことと致しました。

3、 保育園自己評価表

運営管理		評価
1、	保育理念・基本方針を職員や保護者等に周知する為見える場所に掲示している。	A , B , C, D, E B
2、	定期的な職員会議等を通し職員の資質向上、業務効率化や改善等に努める。	A , B , C, D, E B
3、	園長や主任・職員の役割分担が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A , B , C, D, E B
総合評価	・定期的に職員会議やクラス等で理念・方針等職員周知と理解等に努力改善しながら、常には園児・保護者への迅速対応を心がけている。	B

守秘義務		評価
1、	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している。	A , B , C, D, E A
2、	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A , B , C, D, E A
総合評価	・園で知り得た個人情報、記録等は守秘義務を徹底している。個人記録に関しても管理・保管に注意を払っている。	A

安全・危機管理		評価
1、	事故災害事のマニュアルがあり、職員が直ぐに見ることができる所にある。	A , B , C, D, E B
2、	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている。	A , B , C, D, E B
3、	緊急時の為に医療機関等の連絡先が明示されている。	A , B , C, D, E B
4、	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している。	A , B , C, D, E B
総合評価	・事故他等マニュアルはクラス毎直ぐみられる場所に提示。医療機関連絡先の明示、安全点検は職員その他、専門業者にも必ず依頼している。	B

保育環境		評価
1、	保育環境を常に清潔に保ち美観を大切に心地良い環境で出来るよう努めている。	A , B , C, D, E B
2、	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している。	A , B , C, D, E B
3、	季節の草花を飾り、保育の中で園児が季節感を感じる様な配慮を行なっている。	A , B , C, D, E B
4、	野外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	A , B , C, D, E B
総合評価	・日々室内の掃除・消毒・換気・温度・湿度等徹底している。園庭は毎日交代で職員がチェックし、玄関等の美観も心掛けている。	B

健康管理・衛生		評価
1、	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている。	A , B , C, D, E A
2、	日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせた保育を心がけている。	A , B , C, D, E B
3、	玩具、遊具については常に衛生的に保持している。	A , B , C, D, E B
4、	SIDS(乳幼児突然死症候群)や感染症等予防対策やマニュアルが用意されている。	A , B , C, D, E B
総合評価	・健康診断結果票を保護者に配布伝達。日々園児の体調を把握。玩具等毎日消毒し記入票に記載。SIDS・感染症予防対策も継続している。	B

保育内容			評価
1、	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	A , B , C, D, E	C
2、	園児に分かりやすい温かな言葉使いで穏やかに話しをしている。	A , B , C, D, E	C
3、	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し家庭と連携し状況に応じ対応している。	A , B , C, D, E	C
4、	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している。	A , B , C, D, E	B
5、	身近な自然に触れる機会を用意し季節感豊かな感性を育む配慮をしている。	A , B , C, D, E	C
6、	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	A , B , C, D, E	B
総合評価	・振り返ると急がせたり等の時もあり、今後は改めて一人ひとりの人権、人格を尊重し穏やかに接し、家庭と連携して行きたいと思います。	C	

食育			評価
1、	旬の物や季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A , B , C, D, E	B
2、	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事が出来る環境がある。	A , B , C, D, E	B
3、	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている。	A , B , C, D, E	B
4、	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食で対応している。	A , B , C, D, E	B
総合評価	・旬の食材使用し献立作成、提示。個々の食事状況等も保護者に伝えている。アレルギー等は看護師・栄養士・保育士間で情報共有し対応している。	B	

子育て支援・地域交流			評価
1、	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている。	A , B , C, D, E	C
2、	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている。	A , B , C, D, E	B
3、	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	A , B , C, D, E	C
4、	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している。	A , B , C, D, E	B
総合評価	・コロナ過で参観や行事の中止・制限もあり、保護者方々に園の様子を見ていただく機会が減り、日常お迎え時に伝えるよう努力していたが難しさを感じました。	C	

評価について

- A・・・理想的な状態、達成できている状態・・・100%
- B・・・達成間近、取り組み等を頑張っている状態・・・80～90%
- C・・・通常普通に行われている状態・・・70～80%
- D・・・頑張っ取組みなければいけない状態・・・40～50%
- E・・・ほとんど達成できていない状態・・・30%以下

令和 4年度 自己評価のまとめ

保育園では、今年度も「自己評価につながるMyふりかえりノート」を利用して各自、項目ごと自己評価を行ないまた保育園自己評価表を通して今年度の当園としての自己評価のまとめを出してみました。

(1)園全体として (保育を支える園の組織的基盤として)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で日常保育の他、行事の中止・延期・一部変更等試行錯誤でしたが、保護者皆様にはご理解いただき一年間進めることが出来ました。
- ・コロナ過で保護者と話す機会が少なく信頼関係が出来ているか・・・という不安と、それが当たり前と思ひ込んでおろそかになる事もあり、気になる事は早めに伝え合い苦情や要望には謙虚に対応して行きたいと思ひます。
- ・電話連絡等は黒板記入・メモ等の他、新型コロナウイルス感染等専用聞き取り用紙で職員間での情報共有が図れ、園メール等で保護者連絡がスムーズに行われました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、今年度もオンライン研修でとなり職員が同時に多く受講できたことで、その場で共感共有し日常保育にすぐに繋げることができました。
- ・職員全体の技術向上は、昨年同様当番制にすることで向上してきていると思ひます。
- ・安全・危機管理等はマニュアル等により周知、環境整備など周期的に行っていきたいと思ひます。

- ・衛生面は新型コロナウイルス感染拡大対策以前から、日々保育室や玩具の消毒、換気、手洗い指導等行っていましたのでスムーズに対応でき 保護者方々には情報提供等してゆきました。

(2) 自分の任務に対して

- ・自己評価したことで今の現状を可視化して見ることができ、今後の保育に必要な事柄等が把握できて来ました。
- ・園の保育課程に基づき年間目標を立てたが、日々保育の振り返り等見直すことが難しく、その後の週案月案に生かしきれず、保育雑誌を読んだり他保育者と話し合ったりして改善に努められるよう努力したいと思います。また、無理のない計画を立てる事も大切なこととわかりました。
- ・コロナ過での衛生面・清潔な環境作りに重点を置き、子どもの為の環境作りになってないのでは・・・と感じたり、行事の為の環境設定になり、遊びがワンパターンになっていたところもありました。
- ・家庭への園児連絡等は個々にその日のエピソード等を伝え具体的に伝えていく事の大切さ、丁寧な言葉使いで共有理解を得ているかや温度差が発生しないよう心配りしていくことの難しさを改めて感じ、今後とも保護者間との信頼関係をしっかりと築くためにコミュニケーションを取り努力していきたいです。
- ・子どもたち一人ひとりを尊重する保育の為にセルフチェックリスト等活用し自分の保育を見つめ直していく。
- ・オンライン研修で他クラス職員と同時情報共有が出来、コミュニケーションや保育向上に繋がっていると感じました

(3) 今後の課題・目標について

- ・本園の保育理念・保育目標を職員全体で理解・共有できるよう定期的に確認しながら全職員で目標に向け、協力していけるよう保育者間で保育内容の報告・連絡・相談・一人ひとりの成長等について共通理解を深め、保育の見直し等の改善を行いながら進めていきたいと思っています。
- ・職員全体で不適切な保育について改めて全国保育士会からの人権擁護セルフチェックリストやオンライン研修等を活用し、今迄の保育について見つめ直しながら日々の保育を丁寧に行っていきたいと思っています。
- ・丁寧な言葉と謙虚な態度・敬語で保護者皆様に接し、共通理解を得る為の機会として保育参加等の行事を設ける等し、家庭と保育園が両輪となって成長を促せるよう努力してゆきたいと思っています。
- ・苦情や要望にはその都度詳しく内容を聞き、園全体で早急に対応してゆきたいと思っています。
- ・コロナ過では新たな生活様式を取り入れながら進めてきましたが、コロナ過開けとなる新年度からは全体での保育や一人ひとりの成長にあわせた丁寧な保育を相互に取り入れながら進めていきたいと思っています。
- ・今後も様々な感染症の情報提供等をその時々にあわせて迅速に伝え、保護者方々に安心していただけるよう配慮し、園舎室内の消毒・換気等も継続していきます。
- ・今後もオンライン研修を積極的に活用し、多くの職員が同時理解・共有できるようにしていきたいと思っています。

これからもより一層、山目保育園の保育理念・保育方針・保育内容等を共通理解し、全職員が心をつなげて研鑽に励み、保護者の皆様と一緒にお子様の健全なる成長に関わってまいります。